

第１号議案

平成２７年度の協議会の取組方針及び主な重点事業（案）について

１ 取組方針

平成２７年度は、国補助による地域協働推進事業の２か年（平成２５年度～平成２６年度）の実施期間が一旦終了するなど、協議会予算の規模縮小が見込まれるところです。

こうした状況を踏まえ、平成２７年度においては、現在実施している事業の更なる深化に重点を置くことを協議会の取組方針とし、限られた財源をより効果的に活用する事業の推進を図っていきます。

加えて、粟生線の利用促進の取組を推進する一方で、粟生線の利用実態を詳細に把握することにより、利用者数の増加につながる利活用方策を検討します。

２ 主な重点事業

(1) 学校、自治会等への「出前講座」の開催

平成２６年度においては、粟生線の維持・存続に向けた取組への理解を深めていただくため、「粟生線活性化セミナー『一緒に考えよう！粟生線とまちの将来』」を全１１回にわたり開催しました。

醸成しつつある粟生線の維持・存続への機運を更に盛り上げるため、平成２７年度においては、学校や自治会、老人クラブなどにも対象の裾野を広げ、より地域に溶け込んだ「出前講座」を草の根的に開催し、粟生線の現状認識の共有や優先利用行動の喚起を図っていきます。

(2) 「粟生線乗ろうDAY！」プログラムの更なる推進

鉄道を日常的に利用されない人にも利用していただきやすい仕組みを取り入れたイベントについて、協議会として、平成２５年度から「粟生線乗ろうDAY！」プログラムに指定し支援していますが、まだまだ協議会が主導的に関与している状況です。

そこで、平成２７年度においては、神鉄の利用意識の向上や利用促進を地域自らが主体的に考え、それらの仕組みを積極的に取り入れた地域まつりや地域イベントに対し、重点的に支援していきます。

(3) 粟生線の利用者数の増加につながる利活用方策の検討

粟生線について、神戸電鉄、沿線各市、兵庫県などの関係者による利用促進の取組を進めていますが、利用者数は依然として減少傾向にあり、目標人数（７００万人台）の確保にもまだ開きがある状況です。

このため、鉄道、バス、自家用車などの多様な交通手段の利用状況や将来の人口減少社会の到来を見定め、粟生線利用者のＩＣカード乗車券などの使用履歴等のデータ（いわゆるビッグデータ）を活用し、粟生線の利用実態の現状を詳細に把握するとともに、利用者数の減少の要因分析を行い、利用者数の増加につながる利活用方策を検討します。

連携計画における方針		平成27年度事業計画の項目		事業の概要	主な具体的施策(H26)	主な具体的施策(H27)
(1)	輸送サービスの改善	1	企画きっぷ等の充実	沿線内外の施設やイベント等と連携し、魅力ある企画きっぷの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある企画きっぷの発売 神鉄おもてなしきっぷ、三木金物まつり1dayチケット 神鉄利用者に対する割引特典の付与 小野まつり来場者に対する割引券の配布(小野市) 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある企画きっぷの発売 神鉄おもてなしきっぷ、三木金物まつり1dayチケット →(3)-8へ シニアやファミリー向けなどの新たな企画きっぷの検討・実施 既存の企画きっぷの見直し・リニューアルの検討・実施
		2	割引制度の充実	高齢者や子どもを含む家族での外出支援を通じて粟生線の利用促進を図るべく、割引制度を検討、導入する。	<ul style="list-style-type: none"> 神鉄高速シニアバスの発売継続 高齢者福祉バスの交付継続(三木市) 高齢者割引制度の検討(神戸市) 小児運賃無料化やエコファミリー制度の導入に向けた勉強会の実施(三木市、小野市) 	<ul style="list-style-type: none"> 神鉄高速シニアバスの発売継続【取りやめ】 高齢者福祉バスの交付継続(三木市)【取りやめ】 高齢者割引制度の実施(神戸市) 北播磨総合医療センターへの通院等に係る神戸電鉄利用補助の継続(三木市) 小児運賃無料化やエコファミリー制度の導入に向けた勉強会の実施
		3	ダイヤの改善・運行本数の見直し等の運行改善	優等列車の運行による速達性の向上や利用実態に合わせた運行形態(ダイヤ、運行本数等)について検討し、現状の利便性、効率性の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 優等列車の運行による速達性の向上の検討・実施 輸送実態に応じた適正な運行形態の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> 次回ダイヤ改正に向けた優等列車の運行等による速達性の向上及び輸送の効率化の検討
		4	快適な駅・車内空間づくり	接客サービスの向上や快適な駅・車内空間づくり等により、安全、安心、快適な輸送サービスを提供し、利用の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 駅前市民トイレの整備検討(三木市) 	<ul style="list-style-type: none"> 志染駅市民トイレの整備(三木市) 車両の新造
(2)	駅勢圏(駅の集客範囲)の拡大	5	駅停車エリア、駐車場、駐輪場の整備及び駅情報・運行情報等の発信	パーク&ライド、キス&ライド、サイクル&ライドを促進するため、既存の駐車場や駐輪場のPRを定期的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> パーク&ライド駐車場や駐輪場の活用、PR 	<ul style="list-style-type: none"> パーク&ライド駐車場や駐輪場の活用、PRの継続
		6	バスとの効果的な接続	路線バスなどの駅へのアクセスの改善やバスダイヤの調整により、利便性の向上を図るとともに、そのPRに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 電車到着時刻との整合を図るバスダイヤの検討、調整(三木市・小野市) 既設一般路線バスの再編を含めた、駅へのアクセスの改善による利便性の向上の検討、調整(三木市) 	<ul style="list-style-type: none"> 電車到着時刻との整合を図るバスダイヤの検討、調整(三木市) 既設一般路線バスの再編を含めた、駅へのアクセスの改善による利便性の向上の検討、調整(三木市)
(3)	定期利用者と交流人口の拡大	7	沿線立地企業等への粟生線通勤・通学利用のPR	「粟生線通勤カムバック補助金」を更に1年延長する。また、自治体における交通政策以外の政策目的と合致する補助制度を検討、実施する。更に、協議会が利用促進施策を検討する上で必要な情報(国勢調査やパーソナルリサーチ調査等のデータ)を整理するとともに、ビッグデータの活用が図られるシステムを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 「粟生線通勤カムバック補助金」の継続、PR 定期利用者を対象とする「無料シャトルバス」の運行実施に向けた詳細条件等の検討 新規就労者に対する通勤定期運賃助成(三木市) ビッグデータを活用した利用促進方策検討システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 「粟生線通勤カムバック補助金」の継続、PR 定期利用者を対象とする「無料シャトルバス」の運行実施に向けた詳細条件等の検討 新規就労者に対する通勤定期運賃助成の継続(三木市) ビッグデータを活用した利用促進方策検討システムの構築及び活用
		8	沿線地域における観光資源の活用と魅力の発信	沿線地域で開催されるイベントとの連携強化や、沿線地域における観光資源の発掘・魅力の向上を図るとともに、ホームページやその他広報媒体を通じて、そのPRを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 三木金物まつり、〇〇まつり等の地域イベント等との連携 神鉄ハイキング、神鉄イベントとの連携拡大 リニューアルしたホームページにおける情報発信強化 	<ul style="list-style-type: none"> 三木金物まつり等の地域イベント等との連携 神鉄利用者に対する割引特典の付与 小野まつり来場者に対する割引券の配布(小野市) 神鉄ハイキング(女性・家族などを対象とした新たな企画・実施を含む。)、神鉄イベントとの連携拡大 リニューアルしたホームページにおける情報発信の継続
(4)	公共交通優先利用行動の喚起	9	企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施	公共交通の利用意識を向上させるため、沿線に立地する企業、学校、転入者等に対しモビリティ・マネジメントを実施し、自発的な粟生線の優先利用行動を喚起する。	<ul style="list-style-type: none"> 利用啓発パンフレットの作成 TFP(過度なマイカー依存の見直しに向けた継続的なコミュニケーション型のプログラム)の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 利用啓発パンフレットの作成 TFP(過度なマイカー依存の見直しに向けた継続的なコミュニケーション型のプログラム)の継続実施 利用増加に向けた多様な主体との意見交換会等の開催 各種学校、自治会等への出前講座の実施(モビリティ・マネジメントの推進)
		10	粟生線キャラクター等による活性化のPR	粟生線が地域にとって身近な存在で、持続して親しまれていくよう、粟生線のキャラクターやロゴマーク、ラッピング電車等により、活性化をPRする。	<ul style="list-style-type: none"> 活性化キャラクター「しんちゃん&てつくん」の活用 ハッピートレイン、ミュージアムトレインの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 活性化キャラクター「しんちゃん&てつくん」の活用 ハッピートレイン、ミュージアムトレインの活用 バスやタクシーなど沿線の公共交通機関を通じた活性化のPR
		11	沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動	行政等の職員が率先して、粟生線等の公共交通機関を利用するリーダーとなりアクションを起こす。	<ul style="list-style-type: none"> 県・市職員等による通勤、出張時等の公共交通率先利用の継続 毎月1回のノーマイカーデーの設定、実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県・市職員等による通勤、出張時等の公共交通率先利用の継続 毎月1回のノーマイカーデーの設定、実施
(5)	安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	12	国庫補助制度も活用した鉄道施設の効果的な更新等	国庫補助制度(鉄道安全輸送設備等整備事業など)も活用しながら、鉄道施設の効果的な更新等を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 施設の更新、改良による安全性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の更新、改良による安全性の向上
(6)	沿線住民との協働と沿線住民の主体的な取組・参画	13	粟生線サポーターズクラブを通じた沿線住民の主体的な取組の推進	沿線住民に粟生線問題への関心を持っていただくとともに、主体的な行動を起こし、他の方にもそれを呼び掛けていただくことで、地域が一体となって粟生線の維持・存続に向けた取組ができるよう、粟生線サポーターズクラブ会員の活動の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 会員(第3期)の募集強化 粟生線サポーターズクラブの活動の活性化 ①粟生線ブログ駅長による情報発信 ②ホームページ上での交流促進 ③集い・シンポジウム等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> サポーターズクラブの運営方法(会期・費用負担等)の見直し 粟生線サポーターズクラブの活動の活性化 ①粟生線ブログ駅長による情報発信 ②ホームページ上での交流促進 ③集い・シンポジウム等の開催 ④ボランティア活動の実施(駅前ごみ清掃、チラシ配布など)

連携計画における方針		平成27年度事業計画の項目		事業の概要	主な具体的施策(H26)	主な具体的施策(H27)
(6)	沿線住民との協働と沿線住民の主体的な取組・参画	14	「粟生線乗ろうDAY！」プログラムを通じた沿線住民、企業、学校、団体等の主体的な取組の推進	沿線住民、企業、学校、団体等と協働し、鉄道や駅施設の利用を組み入れたイベントを企画・実行することで、多くの方に粟生線問題への関心を持っていただくとともに、公共交通の利用意識の向上やマイレール意識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「粟生線乗ろうDAY！」プログラムの推進 ①鉄道の利用を組み入れた地域活性化イベントの実施 ②駅や沿線の美化活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「粟生線乗ろうDAY！」プログラムの推進 鉄道の利用を組み入れた地域活性化イベントの実施 →(6)－13へ
		15	高校や大学と連携した利用促進・啓発活動の推進	地域交流や体験学習プログラムとして主体的に関与することで、高校生や大学生に粟生線問題への理解を深めていただくとともに、プログラムを通じて得た成果を市民に広報することで、市民の意識喚起を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 粟生線活性化グランプリの開催 活動表彰及び提案の募集 	<ul style="list-style-type: none"> 粟生線活性化グランプリの開催 活動表彰及び提案の募集 粟生線活性化グランプリの受賞作品の具体化に向けた検討 高校生や大学生の協働事業の推進 駅構内放送、神鉄トレインフェスティバルへの出店
		16	学校、自治会、観光協会、経済団体などと連携した利用促進・啓発活動の推進	地域の様々な団体へのセミナーの実施や意見交換会を行い、粟生線が抱える問題について理解を深めるとともに、利用促進の取組を広げていく。		<ul style="list-style-type: none"> 経済団体などへのセミナー、意見交換会等の実施 各種学校、自治会等への出前講座の開催
		17	小・中学校や幼稚園を対象とした利用促進・啓発活動の推進	中学生以下を対象として農業体験や七夕装飾、クリスマス装飾などの学習プログラムを実施し、マイレール意識の向上と利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験等の校外学習企画の提供 幼稚園や保育所と協働した七夕装飾、クリスマス装飾等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験等の校外学習企画の提供 幼稚園や保育所と協働した七夕装飾、クリスマス装飾等の実施 学校等の行事に係る利用助成の継続(三木市)
		18	神戸電鉄と地域との交流を促進するイベントの実施	地域参加の要素を組み込んだ鉄道イベントの開催やラッピング列車の活用等により、神戸電鉄と地域との交流を促進し、利用啓発及び利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> トレインフェスティバル等の地域連携イベントの実施 北条鉄道等と連携したイベントの検討、実施 	<ul style="list-style-type: none"> トレインフェスティバル等の地域連携イベントの実施 北条鉄道その他の協議会と連携したイベントの検討、実施
		19	鉄道を利活用する沿線住民の主体的な活動やイベント等を協議会が支援する仕組みの構築	地域や個人の鉄道利用を推奨するため、既存の制度をPRするとともに、新たな支援制度を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 神戸電鉄粟生線利用促進活動補助金の継続、PR 粟生線活性化ボランティアの登録とその活用 	<ul style="list-style-type: none"> 神戸電鉄粟生線利用促進活動補助金の継続、PR →(6)－13へ
(7)	駅を中心としたまちづくりの推進	20	駅周辺に都市機能を集積するための施策の検討	ニュータウンにおける若者向け住宅の供給など、地域特性に応じた住宅地の整備や事業用地の形成による駅周辺への人口集積策を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 緑が丘町まちづくりビジョン委員会を通じた共同住宅供給の検討(三木市緑が丘地区) 	<ul style="list-style-type: none"> 木津複合産業団地における企業誘致(神戸市木津駅周辺) 押部谷住宅空地エリアの活用検討(神戸市) 緑が丘町まちづくりビジョン委員会を通じた共同住宅供給の検討(三木市緑が丘地区)
		21	駅周辺への市民生活に係るサービス施設などの立地促進・施設誘致	駅周辺への市民サービス施設(行政出先機関、病院、保育園、高齢者サービス施設、商業施設等)の誘致・集約化を検討するとともに、駅周辺の道路や歩行者空間の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 三木市民病院跡地活用(社会福祉施設)の推進(三木市) 	<ul style="list-style-type: none"> 鈴蘭台駅前再開発工事の実施(神戸市) <ul style="list-style-type: none"> 北区役所の駅隣接施設への移転 商業施設の集約・誘致 駅前道路の改良及びバス・自家用車の寄り付き改良 ※平成28年度 再開発ビル・駅舎完成 平成29年度 事業完了予定 三木市民病院跡地活用(社会福祉施設)の推進(三木市) <ul style="list-style-type: none"> ※平成27年6月頃から順次開設予定 (特別養護老人ホームは平成29年度開設予定)
		22	駅周辺でのにぎわい拠点の創出	駅周辺の空き地や空き店舗対策を実施するとともに、既存の店舗や商店街と連携し、にぎわい拠点の創出を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 駅前商店街や市民団体と連携したイベントの実施 三木駅の駅舎活用の検討(三木市・神鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前商店街や市民団体と連携したイベントの実施 三木駅の駅舎活用の検討(三木市・神鉄)

(注) ※ 太字は、重点的に取り組む施策を示します。また、自治体が単独又は神鉄等と連携して行う事業は、()に事業主体を記載しています。

※ 上記事業は、神戸電鉄の設備や敷地を利用すること、神戸電鉄が従来から行っている事業との整合を図る必要があること、各事業間での調整・連携のため統合的な管理・運営が必要であること等の理由から、自治体が単独で行う事業を除き、原則として協議会が神戸電鉄へ委託する形で実施します。

※ 上記事業は、事業の実効性や関係先との調整状況により、実施時期や詳細内容について、連携計画の枠組みの中で見直しを行う場合があります。